



平成28年度当初予算(案) の概要

みんなの知恵と技術で、新しい価値を生む
まちづくりの推進

与謝野町

目 次

- ▶ 平成28年度について
- ▶ 予算規模
- ▶ 28年度予算のポイント
- ▶ 28年度主要施策(6つの政策)
- ▶ 行財政改革の取組み
- ▶ 資料編

平成28年度について

平成26年度: 持続可能なまちづくりを進めるために、可能性を模索してきた年。

平成27年度: 可能性をつなぎ合わせ、躍動する年、うねり（Groove）を生み出す年。



平成28年度: 生み出したうねりをさらに大きなうねりにすべく、行動を起こす年。

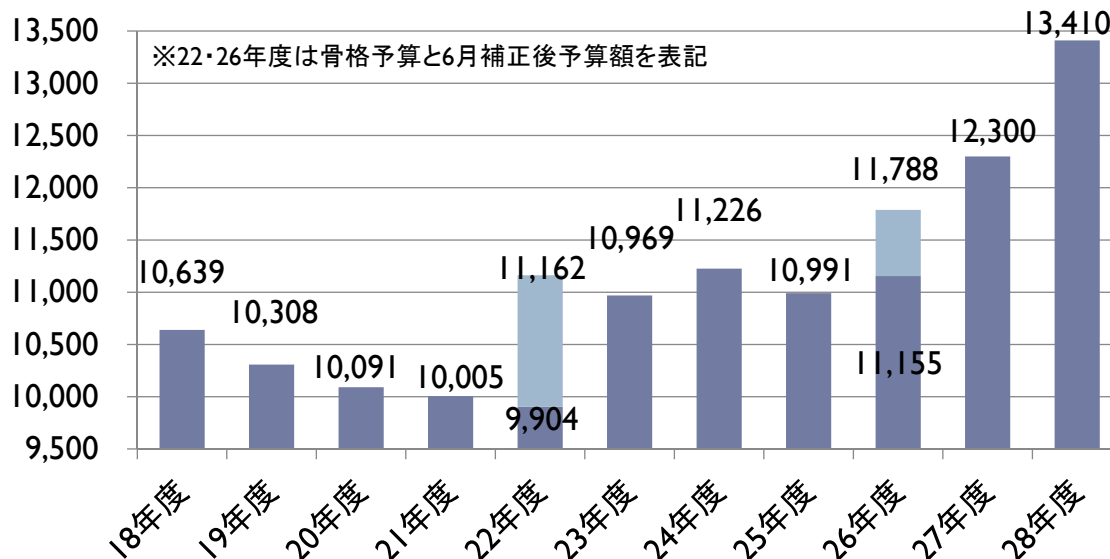


予算の規模（一般会計）

▶ **一般会計予算 134億1千万円** 対前年度：9.0%増

合併後最大の 当初予算規模

単位(百万円)



予算規模（特別会計・水道事業会計含む）

一般会計・特別会計(9会計)・水道事業会計の

▶ **予算総額 224億4,266万円** 対前年度：5.7%増
(12億1,408万円増)

合併後最大の予算総額

単位(万円)

| 会計別 | 28年度当初 | 27年度当初 | 増減率(%) |
|-------------|---------|---------|--------|
| 簡易水道特別会計 | 54,825 | 65,400 | △16.2 |
| 宅地造成事業特別会計 | 10,403 | 10,961 | △5.1 |
| 下水道特別会計 | 161,767 | 164,980 | △1.9 |
| 農業集落排水特別会計 | 3,984 | 3,920 | 1.6 |
| 介護保険特別会計 | 275,250 | 270,150 | 1.9 |
| 土地取得特別会計 | 37 | 36 | 5.1 |
| 国民健康保険特別会計 | 337,140 | 317,850 | 6.1 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 27,420 | 27,990 | △2.0 |
| 財産区特別会計 | 9,100 | 8,330 | 9.2 |
| 水道事業会計 | 23,340 | 23,241 | 0.4 |

※国民健康保険特別会計は28年度税率改定を実施(1世帯平均10,476円の増【6.99%増】)

予算規模（歳入・歳出の主なもの）

■一般会計（歳出）

単位：万円

| 歳出（事業名） | 28当初 予算額 | 要 因 | 27当初 差額 |
|--------------|-------------|---|------------|
| 認定こども園施設整備事業 | 73,289 | 岩滝認定こども園（かえでこども園）改築工事の実施（工事費：69,900、監理委託：1,686）、備品購入費等の増 | 68,346 |
| 中学校施設整備事業 | 141,557 | 27年度は屋内体育施設建設、28年度は校舎棟建設工事の本格化に伴う増（工事費：135,776、設計・監理委託：2,676） | 37,945 |
| 宮津与謝環境組合負担金 | 26,289 | 新清掃工場新築工事（宅地造成工事、施設整備工事費）の増（与謝野町負担分） | 24,207 |
| 消防施設等整備事業 | 13,244 | 加悦第3分団車庫詰所の新築工事（工事費：11,395、監理委託：224）の増 | 7,192 |
| 農業用施設整備事業 | 6,032 | 多田谷川改修工事の増 | 5,840 |

■一般会計（歳入）

単位：万円

| 歳入（収入科目） | 28当初 予算額 | 要 因 | 27当初 差額 |
|----------|-------------|---|------------|
| 町債 | 270,220 | 岩滝認定こども園新築工事、加悦中学校改築工事など建設事業費の増加に伴う、町債借入額の増 | 98,410 |
| 国庫支出金 | 109,524 | 公立学校施設整備費補助金（加悦中学校・岩滝認知こども園）の増、臨時福祉給付金の増 | 14,289 |
| 地方消費税交付金 | 42,350 | 消費税増税(5%→8%)の影響による増。 | 4,194 |

28年度予算のポイント

27年度3月補正予算と一体の「13か月予算」

昨年に続き28年度予算は、27年度補正予算と一体の「13か月予算」とし、切れ目のない予算となるよう予算編成を実施

「与謝野町ひと・しごと・まち総合戦略」を踏まえた施策の実施については、
 27年度補正：「地方創生加速化交付金」（100%国庫財源）
 28年度：「地方創生推進交付金」（50%国庫財源、5年間）
 を積極的に活用

■地方創生加速化交付金（27年度補正）

- 【単独事業】
 - ・与謝野ブランド戦略事業（クリエイターと起業家による魅力あるものづくり・まちづくり創造事業）
 - ・与謝野町農業モデル確立事業（与謝野版農業モデルによる農産物ブランド事業）
- 【広域連携】
 - ・京都北部地域連携都市移住・定住プロジェクト
 - ・海の京都DMO広域観光推進事業

■地方創生推進交付金（28年度）

- ・与謝野ブランド戦略事業（養蚕・桑栽培事業、ブランドプロデュース業務）

28年度予算のポイント

「13か月予算」の予算総額

平成27年度3月補正予算

- ①与謝野ブランド戦略事業
- ②与謝野町農業モデル確立事業
- ③京都北部地域連携都市移住・定住プロジェクト
- ④海の京都DMO広域観光推進事業
- ⑤電算システム管理運営事業
- ⑥道路維持補修事業
- ⑦年金生活者等支援臨時給付金事業

【2億3,538万円】

平成28年度当初予算

【134億1,000万円】

「13か月予算」

合計

【136億4,538万円】

28年度主要政策（6つの政策）

主要
政策

28年度予算も、引き続き
「6つの政策」を重点に実施

ひと・しごと・まち創生総合戦略の4つの基本目標にも沿った事業を展開

| | 総事業費 |
|-----------------------------|-------------|
| 重点 ①新しい視点での産業振興策 | ： 100,566千円 |
| ②観光振興、交流人口の促進 | ： 32,970千円 |
| ③地域密着型の福祉政策 | ： 20,464千円 |
| 重点 ④新たな視点での子ども子育て支援策 | ： 7,711千円 |
| 重点 ⑤未来を見据えた教育施策 | ： 811,449千円 |
| ⑥徹底した情報の透明化、どなたでも参画できる町政の実現 | ： 1,600千円 |

28年度主要政策（6つの政策）

なぜこの6つの政策を重要政策とするのか。

日本の多くの地域で見られるように、与謝野町においても、少子・高齢化や基幹産業である織物業や農業の産業人口の減少が進んでいます。

充実した子育て支援、多様性を重視した教育、安定した福祉、攻める織物や農業への転換、生活基盤の整備により、町民の皆さんにとって魅力あるまちづくりを進めていけるよう、この6つの政策を重点政策として掲げています。

特に産業振興（織物業・農業分野）については、与謝野ブランド戦略「みえるまち」をコンセプトに一気に通貫したものづくりを提供できる環境を構築し、小さなまちから世界にインパクトを与えることができる、産業を機軸としたまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。

28年度主要政策

①新しい視点での産業振興策

与謝野ブランド戦略事業

71,759千円

| 区分 | 事業概要 | 3月補正 | 当初 | 担当課 |
|----|---|--------|--------|-----------------------|
| 拡充 | <p>平成27年12月に定めた「与謝野ブランド戦略」のコンセプト「みえるまち」に基づき、行政（商工観光課、農林課、企画財政課）と商工会による「与謝野ブランド戦略推進チーム」を設置し、官民一体となって下記事業・プロジェクトを展開します。</p> <p>■マネジメント体制構築 ・与謝野ブランド戦略アドバイザー委託料 8,000千円（当初）</p> <p>■みえるまちの実現</p> <p>1) 安心安全がみえる （基幹産業の源流強化と与謝野流エコシステムの確立） ・シルクプロジェクト事業費補助金 22,000千円（当初） ※「与謝野町農業モデル確立事業」（再掲）</p> <p>2) 個性がみえる （共創による仕組みづくり、仕事づくり、人づくり） ・ものづくりワークショップ事業委託料 3,000千円（3月補正） ・起業支援業務委託料 4,000千円（3月補正）</p> <p>3) もてなしがみえる （みえるまちを体感・発信する拠点エリアを構築） ・阿蘇ベイエリアプロジェクト補助金 34,000千円（3月補正）</p> | 41,000 | 30,759 | 商工観光課 農林課 企画財政課 |

28年度主要政策

①新しい視点での産業振興策

与謝野町農業モデル確立事業

10,700千円

| 区分 | 事業概要 | 3月補正 | 当初 | 担当課 |
|----------|---|--------|----|-----|
| 新規 拡充 | <ul style="list-style-type: none"> ・S O F I X（土壌肥沃度指標）による京の豆っこ肥料を活用した農業の推進 ・S O F I X（土壌肥沃度指標）ブランド認証による農産物の流通体制の構築 ・水田を利用した新規作物として、ホップの試験栽培、ミディマト等新規作物の生産振興、及び農業体験・加工品開発等の6次産業化 ・与謝野町版農業モデルのプロモーション 他 | 10,700 | | 農林課 |

織物振興対策事業（生産基盤支援・織機調整等支援）

12,660千円

| 区分 | 事業概要 | 3月補正 | 当初 | 担当課 |
|----|---|------|--------|-------|
| 継続 | <p>今なお高い技術力を維持している織物業等に係る機械の維持補修など、経費負担に対する助成制度を継続することにより、生産機能の向上や底上げ、新たな商品開発への機運を高め、織物業界の生産低下や後継者不足への対応を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・織物織機調整等支援事業補助金 2,660千円（当初） ・織物業生産基盤支援事業費補助金 10,000千円（当初） | 0 | 12,660 | 商工観光課 |

28年度主要政策

②観光振興、交流人口の促進

移住・定住支援事業（与謝野IJU戦略プロジェクト）

10,168千円

| 区分 | 事業概要 | 3月補正 | 当初 | 担当課 |
|----|--|-------|-------|-------|
| 拡充 | <p>地域住民と移住者との交流を促進し、交流人口や定住者の増加を図るため、ワンストップ窓口による移住相談体制を強化するとともに、地域に根付いた手仕事やライフスタイルを体感できる短期滞在型プログラムの実施、移住相談・交流施設の拠点化を図ることで、移住推進体制を整備する。</p> <p>また、京都府北部5市2町共同事業として、クリエイティブ・ディレクターを活用しながら、移住先としての地域ブランディング確立に取り組むとともに、空き家、企業情報等を一括で検索・発信できるシステムや機会の提供、圏域で実現可能なライフスタイルに対応する体験事業の実施、移住者等の受け入れに向けた地元リーダーの育成を図る。</p> | 2,150 | 8,018 | 企画財政課 |

28年度主要政策

②観光振興、交流人口の促進

海の京都広域連携・地域づくり事業

20,102千円

| 区分 | 事業概要 | 3月補正 | 当初 | 担当課 |
|----------|--|-------|--------|-------|
| 継続 新規 | <p><海の京都広域連携> 5市2町が連携して観光振興に取り組む「海の京都事業」において、広域連携や着地型旅行商品の造成、インバウンド対応など、課題が山積している。こうした課題を解決し、海の京都事業をさらに加速化させるため、北部5市2町、観光協会の地域連携を更に強固とするDMO組織「海の京都振興会社（仮称）」を設立し、本圏域の観光・交流・集客等に関する事業を一元的・総合的に実施・推進する。</p> <p>・海の京都DMO広域観光推進事業負担金 9,536千円（3月補正）</p> <p><観光地域づくり事業> 海の京都観光圏事業で進めている地域づくりを継続して展開し、滞在型交流の仕組みを構築する。また、地域づくりのコーディネート、観光協会組織の全体統括、滞在プログラムの企画立案、外部との連携調整、インバウンド事業などを中心的に担える人材を引続き登用する。</p> <p>・海の京都観光地域づくり支援業務負担金 3,240千円（当初） ・観光地域づくり組織支援事業補助金 7,326千円（当初）</p> | 9,536 | 10,566 | 商工観光課 |

28年度主要政策

②観光振興、交流人口の促進

全国椿サミット与謝野大会の開催

2,700千円

| 区分 | 事業概要 | 3月補正 | 当初 | 担当課 |
|----|---|------|-------|-------|
| 継続 | <p>本町の椿をはじめとする地域資源の魅力発信、観光振興に寄与することを目的として、平成27年2月に実行委員会を設立し、大会開催に係る企画・準備を進めてきた。平成28年度において、4月9日から10日にかけて、全国からの椿愛好家等が集う「第26回全国椿サミット与謝野大会」を開催する。本大会では、地域と協働し、与謝野らしさを体感いただく内容として開催することとし、以後においても恒久的な地域滞在型交流の仕組みづくりとして、地域資源の魅力活用による来訪者へのおもてなしの充実を図る。</p> <p>・全国椿サミット実行委員会補助金 2,700千円（当初）</p> | 0 | 2,700 | 商工観光課 |

28年度主要政策

③地域密着型の福祉政策

地域福祉計画策定事業

3,227千円

| 区分 | 事業概要 | 3月補正 | 当初 | 担当課 |
|----|--|------|-------|-----|
| 継続 | 地域の課題や福祉ニーズに応え、地域や家族が本来持っていた自助・共助の役割分担により、住民参加の地域福祉体制の構築をめざし、住民相互の信頼と支え合いによる地域福祉社会実現の指針となる新たな計画策定を実施。 (27・28年度の2か年事業) | 0 | 3,227 | 福祉課 |

喀痰吸引等研修事業

480千円

| 区分 | 事業概要 | 3月補正 | 当初 | 担当課 |
|----|--|------|-----|-----|
| 継続 | 町内福祉事業所に勤務する介護職員が看護師に代わって痰の吸引等の医療的処置が行えるよう研修に参加した場合の研修費用の助成(1/2)を実施。 | 0 | 480 | 福祉課 |

28年度主要政策

③地域密着型の福祉政策

地域医療確保奨学金貸付事業

7,610千円

| 区分 | 事業概要 | 3月補正 | 当初 | 担当課 |
|----|---|------|-------|-----|
| 継続 | <p>■ 与謝野町内にある医療法に規定する公的医療機関において医師として将来従事しようとする医学生、臨床(専門)研修医等を対象に、奨学金制度を1市2町連携事業で実施。</p> <p>【月額15~20万円を上限とし貸与(返還免除規定有り)】</p> <p>■ 京都府立医科大学附属北部医療センターにおいて、将来「助産師または看護師」として勤務希望する看護学生を対象に、奨学金制度を1市2町連携事業で実施。</p> <p>【年額100万円を上限とし貸与(返還免除規定有り)】</p> | 0 | 7,610 | 保健課 |

28年度主要政策

③地域密着型の福祉政策

■介護保険特別会計

介護予防地域交流活性化事業 1,080千円

| 区分 | 事業概要 | 3月補正 | 当初 | 担当課 |
|----|--|------|-------|-----|
| 継続 | 地域の空き家等を利用して高齢者サロン等を運営するボランティア(団体)やNPO法人等に対して、家賃、光熱水費等の経費に対して助成するもの。 | 0 | 1,080 | 福祉課 |

認知症対応型共同生活介護(グループホーム)家賃等助成金制度 8,067千円

| 区分 | 事業概要 | 3月補正 | 当初 | 担当課 |
|----|---|------|-------|-----|
| 継続 | 同じ入所型施設でありながら特別養護老人ホームに比べて利用者負担が高くなっている認知症対応型生活介護施設(グループホーム)に家賃、食費に対して助成するもの。 | 0 | 8,067 | 福祉課 |

28年度主要政策

④新たな視点での子ども子育て支援策

生活困窮家庭自立支援事業 420千円

| 区分 | 事業概要 | 3月補正 | 当初 | 担当課 |
|----|---|------|-----|-----|
| 新規 | 生活困難・困窮家庭の児童に対して学習支援及び学習環境を整えるための生活支援を週2時間程度、NPO法人「宮津・与謝子育て・教育ネットワーク」に委託し、訪問型事業として実施する。 | 0 | 420 | 福祉課 |

児童・家庭相談事業 6,377千円

| 区分 | 事業概要 | 3月補正 | 当初 | 担当課 |
|----|---|------|-------|--------|
| 新規 | 教育委員会・福祉課それぞれで実施してきた教育相談事業と児童相談事業を、子育て応援課の相談事業として一本化し、多様化する相談内容に対応するため、相談員や相談日の拡充を図り、育児・養育相談やカウンセリング、プレイセラピー等を実施する。 | 0 | 6,377 | 子育て応援課 |

28年度主要政策

④新たな視点での子ども子育て支援策

養育困難家庭自立支援事業

408千円

| 区分 | 事業概要 | 3月補正 | 当初 | 担当課 |
|----|--|------|-----|--------|
| 新規 | 子どもの養育が困難な家庭が増加しており、それらの家庭は複数の困難な事情を抱えている方が多く、一人ひとりに寄り添った支援が必要であるため、NPO法人「宮津・与謝子育て・教育ネットワーク」への委託により家庭訪問等による生活・学習支援を実施する。 | 0 | 408 | 子育て応援課 |

放課後学習支援事業

506千円

| 区分 | 事業概要 | 3月補正 | 当初 | 担当課 |
|----|--|------|-----|-------|
| 拡充 | さまざまな理由により家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない児童への学習支援として、長期休業（夏休み等）中を除き、放課後に週1回1時間程度の補習を実施する。平成27年度は、10月から12月の間に5小学校で試験的に実施したものを28年度より全小学校で実施する。 | 0 | 506 | 社会教育課 |

28年度主要政策

⑤未来を見据えた教育施策

アベリスツイス交流事業

3,285千円

| 区分 | 事業概要 | 3月補正 | 当初 | 担当課 |
|----|--|------|-------|-------|
| 継続 | アベリスツイスへの高校生派遣交流（12回目）、アベリスツイス大学との連携事業としてフランクエバンス奨学金による留学の斡旋、サマースクール留学及び産業視察・文化交流のための大学生受け入れ事業を実施。 | 0 | 3,285 | 企画財政課 |

ヨサノ大学(仮称)事業

4,000千円

| 区分 | 事業概要 | 3月補正 | 当初 | 担当課 |
|----|--|------|-------|----------------|
| 新規 | 「与謝野を愛し、多様性を認め合い、新しいモノやコトを創出する人財の育成」を目的とした町民のためのヨサノ大学(仮称)の開校を目指し制度設計を行うとともに、趣旨を踏まえたプログラムの先行試行及び一般教養講座から政策提言を行うリベラルアーツ事業(2年目)を実施する。 | 0 | 4,000 | 企画財政課 社会教育課 |

28年度主要政策

⑤未来を見据えた教育施策

認定こども園管理運営事業

71,270千円

| 区分 | 事業概要 | 3月補正 | 当初 | 担当課 |
|----|---|------|--------|--------|
| 新規 | 町立の岩滝幼稚園・岩滝保育所を再編、岩滝保育所の園舎を活用して、保護者の就労の有無に関わらず、すべての子どもが質の高い幼児教育・保育を受けられる新たな施設として、幼保連携型認定こども園「かえでこども園」を管理運営する。 | 0 | 71,270 | 子育て応援課 |

認定こども園施設整備事業

732,894千円



「与謝野町立かえでこども園」イメージパース

| 区分 | 事業概要 | 3月補正 | 当初 | 担当課 |
|----|--|------|---------|--------|
| 継続 | 園舎の老朽化に伴い耐震対策が必要な岩滝幼稚園を解体し、町立の幼保連携型認定こども園「かえでこども園」の新園舎を建設する。 | 0 | 732,894 | 子育て応援課 |

28年度主要政策

⑥徹底した情報の透明化、どなたでも参画できる町政の実現

合併10周年記念事業

1,600千円

| 区分 | 事業概要 | 3月補正 | 当初 | 担当課 |
|----|--|------|-------|-------|
| 新規 | 合併10周年を記念し、地域間交流の促進や住民の更なる一体感の醸成を図るため、各地区に伝わる伝統芸能の披露を通じた住民交流を実現し、地域の宝や魅力、伝統行事等に対する歴史的価値を再認識する機会として「与謝野町郷土芸能祭」を開催する。 <開催：平成28年中に開催を予定> | 0 | 1,600 | 企画財政課 |

広聴事業(町政懇談会・高校生との対話授業・どこでも町長室)

0千円

| 区分 | 事業概要 | 3月補正 | 当初 | 担当課 |
|----|---|------|----|-------|
| 継続 | 合併当初からの取り組みである町政懇談会・高校生との対話授業を平成28年度も継続して実施。 町政懇談会では、住民の皆さんから多くの意見をお聞きし、まちづくりを進めるための基礎とし、また、対話授業では、将来を担う高校生の斬新な考えやまちづくりに対する思いを、町政運営に生かすことを目的に実施。(加悦谷高等学校、宮津高等学校) また、どこでも町長室を平成27年度から開催している。どなたでも気軽に参加していただけるよう、ランチミーティング形式とし、住民のきいたんのない意見を聞く場としている。 | 0 | 0 | 企画財政課 |

28年度主要政策 その他政策的事業

与謝野町公共施設等総合管理計画策定事業

570千円

| 区分 | 事業概要 | 3月補正 | 当初 | 担当課 |
|----------|---|------|-----|-------|
| 継続 新規 | 平成28年1月29日に、山添町長から行政改革推進委員会へ、「与謝野町公共施設等総合管理計画の策定」を諮問。行政改革推進委員会では、「与謝野町公共施設等総合管理計画管理計画（基本計画・実施計画）を平成28年度中の策定に向け協議を実施。 また、行政改革推進委員会とは別組織で、役場庁舎の今後のあり方について協議を行う「庁舎統合検討委員会」を28年中に立ち上げ、協議を再開する。 | 0 | 570 | 企画財政課 |

骨髄ドナー助成事業

140千円

| 区分 | 事業概要 | 3月補正 | 当初 | 担当課 |
|----|--|------|-----|-----|
| 新規 | 骨髄移植を必要とする患者を一人でも多く救うために、骨髄提供者の経済的な負担を軽減することで、骨髄移植の推進を図ることを目的に実施。 【入院期間1週間、日額2万円を上限として助成】 | 0 | 140 | 保健課 |

28年度主要政策 その他政策的事業

ごみ減量化取組強化期間

450千円

| 区分 | 事業概要 | 3月補正 | 当初 | 担当課 |
|----|--|------|-----|-------|
| 拡充 | 平成28年度を「ごみ減量化取組強化期間」として、特に可燃ごみを平成26年度比で4割削減する目標を立てて、ごみの減量化を推進することとしているが、このごみ減量化対策の具体的な取組として、電気式生ごみ処理容器の普及のため、減量化取組強化期間となる平成28年度に限って、電気式生ごみ処理容器の補助限度額を現在の10,000円から15,000円に引き上げて普及を図る。 | 0 | 450 | 住民環境課 |

有害鳥獣防除フェンスの維持管理に対する支援

2,880千円

| 区分 | 事業概要 | 3月補正 | 当初 | 担当課 |
|----|---|------|-------|-----|
| 拡充 | 地域が主体となって行っている有害鳥獣防除フェンスの点検・補修にかかる経費（労務・資材）に対して補助金を交付することにより、地域の負担軽減と農作物・生活環境への被害防止を図る。 | 0 | 2,880 | 農林課 |

加悦第3分団車庫詰所の新設

116,335千円

| 区分 | 事業概要 | 3月補正 | 当初 | 担当課 |
|----|---|------|---------|-------|
| 新規 | 町民の生命と財産を守る、崇高な使命のもと昼夜を問わず活動する消防団の活動拠点施設として加悦第3分団車庫詰所を新設する。 | 0 | 116,335 | 防災安全課 |

28年度主要政策 その他政策的事業

「美しく豊かな阿蘇海をつくり未来へつなぐ条例」
「与謝野町の環境みらい2017」シンポジウムの開催 2,931千円

| 区分 | 事業概要 | 3月補正 | 当初 | 担当課 |
|----|---|------|-------|-------|
| 新規 | 「阿蘇海環境づくり協働会議」が、阿蘇海流域の将来あるべき姿や目標、取組の基本方針等を示した「阿蘇海流域ビジョン」を平成27年3月に策定され、このビジョンに掲げられた取組を一層推進するために、関係のある宮津市及び京都府と協議の上、同内容の条例を平成28年3月議会に提案。 この条例制定に合わせ、町内で先進的な環境活動を行う団体にスポットを当てた体験型の「地域を知る環境学習ツアー」のほか、「与謝野町の環境みらい2017」としてシンポジウムを開催し、住民の環境意識の更なる向上と活動実践者を増やす取組を展開する。 | 0 | 2,931 | 住民環境課 |

豊かな森育成事業 3,384千円

| 区分 | 事業概要 | 3月補正 | 当初 | 担当課 |
|----|--|------|-------|-----|
| 新規 | 「京都府豊かな森を育てる府民税」を財源として、森林の多面的機能を維持し増進する事業を行う。 ・京都 X キャンプとの共同による森林体験学習の実施、森林資源の循環利用と森林の多様な重要性についての調査・研究 ・財産区等が行う森林整備事業等に対する助成 | 0 | 3,384 | 農林課 |

行財政改革の取組み

合併以降交付税減額対策として、財政調整基金、減債基金などを積立ててきたが、さらなる「制度・事業」の見直し、公共料金等の適正化に向けた取組みを加速させる必要がある。

①公共料金等の見直し

28年度は国保税の改定を実施、29年度以降の早期に、上・下水道料金の見直しについて調整を行う。

②公共施設等総合管理計画の策定と早期計画の実施

27年度においては野田川庁舎本館の閉鎖、岩屋保育所、岩屋小学校については他保育所・他校への統合を前倒して実施。

28年度には「与謝野町公共施設等総合管理計画」を策定し、計画的に統廃合など適正化に取り組むほか、庁舎統合検討委員会を設置し、役場庁舎の統合に向けた議論を再開する。

③事務事業見直し等

29年度から役場3庁舎宿直業務の1庁舎への集約化に向けた調整を行い運営経費の節減等の取組みを進めるほか、「与謝野町資金管理方針」を定め、基金などの資金を使い、債権運用による新たな取組みを進める。

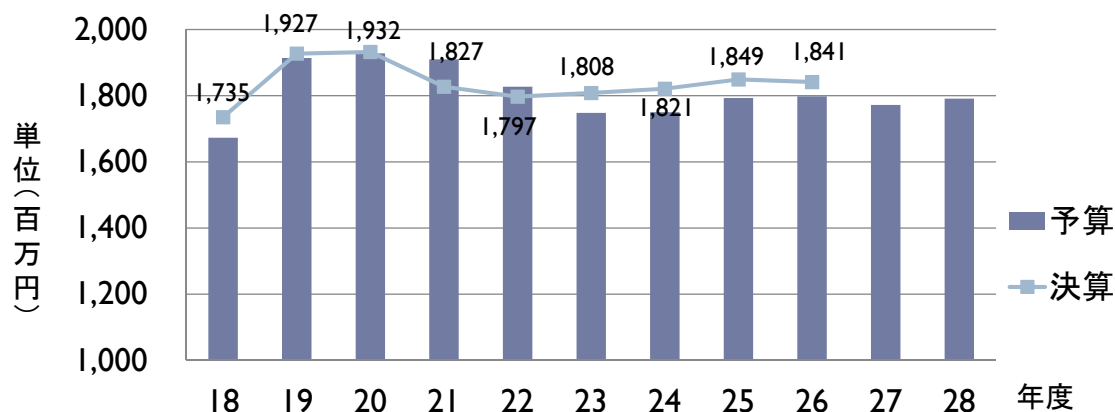
資料編

<町税の状況>

➡ **町税総額 17億9,117万円**

対前年度:1,891万円増
(+1.1%)

| 税目 | 28年度予算 | 27年度予算 | 増減率(%) |
|-------|-----------|-----------|--------|
| 町民税 | 7億8,740万円 | 7億8,886万円 | ▲0.2 |
| 固定資産税 | 8億1,276万円 | 7億8,659万円 | 3.3 |
| 軽自動車税 | 6,260万円 | 6,060万円 | 3.3 |
| 町たばこ税 | 1億2,840万円 | 1億3,620万円 | ▲5.7 |



資料編

<町税の状況>

町税前年度比較

■町民税

| 町民税内訳 | | 28年度予算 | 27年度予算 | 増減率(%) |
|-------|-------|-----------|-----------|--------|
| 個人 | 所得割 | 6億7,000万円 | 6億5,600万円 | 2.1 |
| | 均等割 | 3,400万円 | 3,500万円 | ▲2.9 |
| | 滞納繰越分 | 1,200万円 | 1,300万円 | ▲7.7 |
| 法人 | 法人税割 | 2,500万円 | 3,850万円 | ▲35.1 |
| | 法人均等割 | 4,600万円 | 4,590万円 | 0.2 |
| | 滞納繰越分 | 40万円 | 46万円 | ▲12.9 |

■固定資産税

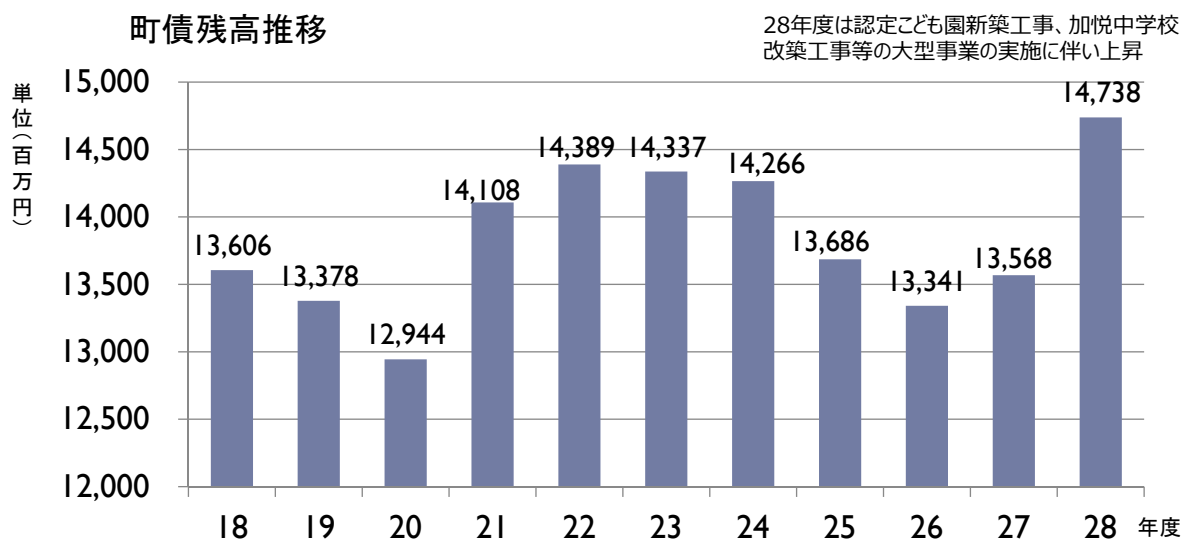
| 固定資産税内訳 | 28年度予算 | 27年度予算 | 増減率(%) |
|---------|-----------|-----------|--------|
| 土地 | 2億8,394万円 | 2億8,592万円 | ▲0.7 |
| 家屋 | 3億8,815万円 | 3億7,037万円 | 4.8 |
| 償却資産 | 1億1,429万円 | 1億465万円 | 9.2 |
| 滞納繰越分 | 1,274万円 | 1,198万円 | 6.3 |

資料編

<町債の状況（一般会計）>

▶ **平成28年度末町債現在高見込み 147億3,831万円**

対前年度: 11億7,064万円増(8.60%)



資料編

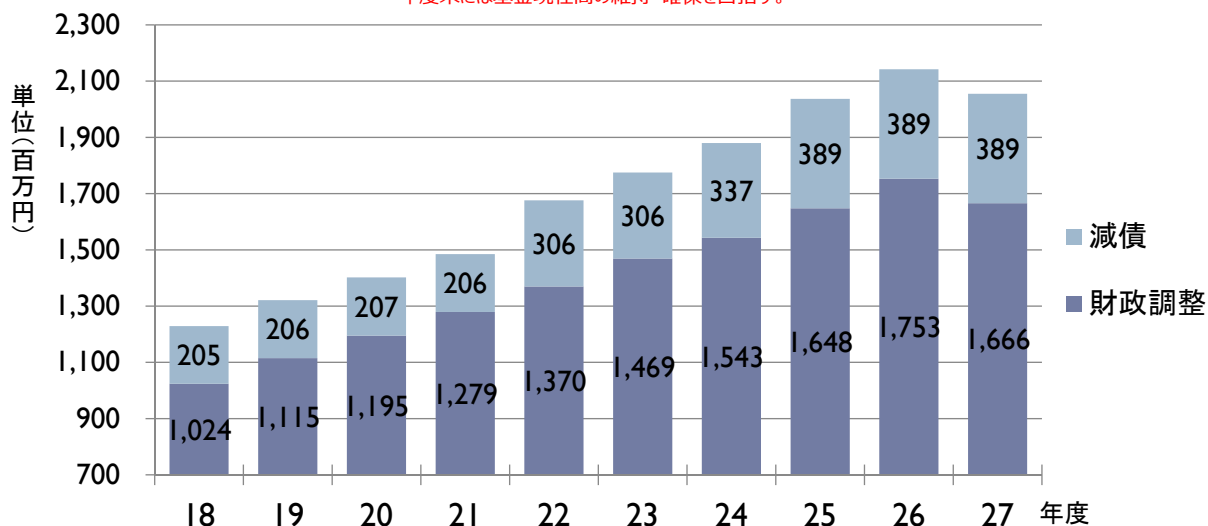
<基金の状況（財政調整基金・減債基金）>

▶ 平成27年度末基金現在高見込み（3月補正時点）

財政調整基金：16億6,636万円（対前年度：8,665万円減（▲4.9%））

減債基金：3億8,894万円（対前年度：17万円増（0.0%））

27年度3月補正時点では、1億9,800万円を財政調整基金から取り崩している。
年度末には基金現在高の維持・確保を目指す。



資料編

< 基金の活用（財政調整基金） >

➡ 当初予算において「財政調整基金」を過去最大の
4億7,900万円を取崩し。

対前年度：3.0%増（1,400万円増）

財政調整基金は、当初予算編成時には不確定な財源もあるため財源補てん
としている。決算時には取崩し額「0」を目指す。

当初予算時の財政調整基金取り崩し額推移

単位(百万円)

| 基金名 | 18 年度 | 19 年度 | 20 年度 | 21 年度 | 22 年度 | 23 年度 | 24 年度 | 25 年度 | 26 年度 | 27 年度 |
|--------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 財政調整基金 | 0 | 200 | 100 | 80 | 0 | 45 | 200 | 420 | 365 | 465 |

※18～26年度決算時におきましては、財政調整基金の取り崩しはありません。

資料編

< 普通建設事業の状況（一般会計） >

➡ 平成28年度普通建設事業見込み 27億7,082万円

・ 27年度当初予算比較 : 10億2,529万円増（+58.7%）

【平成28年度実施予定の主な普通建設事業】

単位：万円

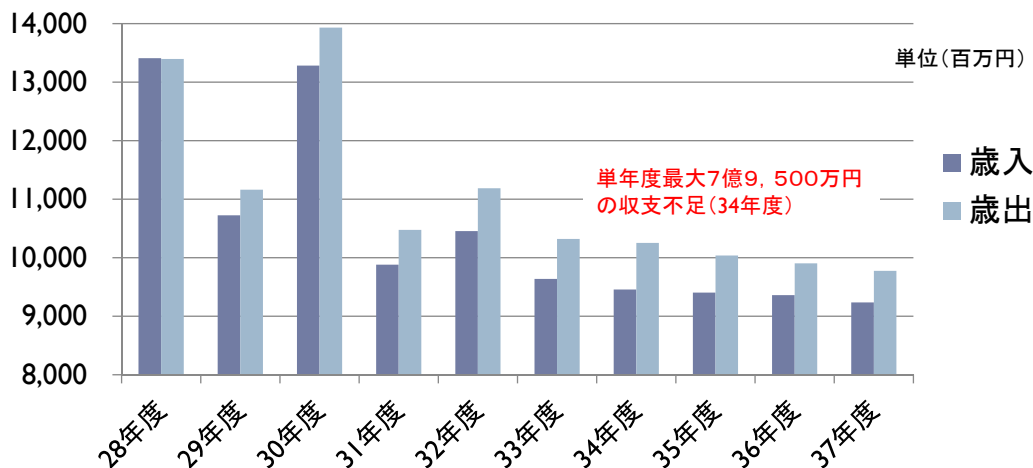
| 事業名 | 事業費 | 主な内容 | 担当課 |
|--------------|---------|--|--------|
| 中学校施設整備事業 | 138,494 | 加悦中学校改築工事（工事費：135,776、設計・監理委託：2,676） 26・27・28年度の3か年事業 | 学校教育課 |
| 認定こども園施設整備事業 | 71,632 | 認定こども園（岩滝）施設整備（工事費：69,900、監理委託：1,686） | 子育て応援課 |
| 消防施設等整備事業 | 13,179 | 加悦第3分団消防車庫詰所造成・新築工事（造成工事：5,000、新築工 事：6,395、監理委託：224） | 防災安全課 |
| 道路維持補修事業 | 12,971 | 大浜2号支線（阿蘇橋）橋りょう長寿命化工事 | 建設課 |
| 道路新設改良事業 | 12,040 | 野田川本線、四辻岩屋線側溝工事 | 建設課 |
| 河川改修事業 | 8,400 | 浸水対策（石川地区鞭谷川バイパス水路） | 建設課 |
| 農業用施設整備事業 | 6,000 | 多田谷川改修工事 | 農林課 |
| 町営住宅維持管理事業 | 3,345 | 安良（やすら）団地改善工事 | 建設課 |
| 一般廃棄物処理委託事業 | 2,900 | 宮津市清掃工場工事費分担金 | 住民環境課 |

資料編

<与謝野町の財政状況>

■ 今後10年間の財政見通し(行政サービスを現状のまま維持した場合)

28年度から合併特例終了に伴う交付税逦減が始まる。
(平成33年度には平成27年度と比較し、約7億円の減少を見込む)

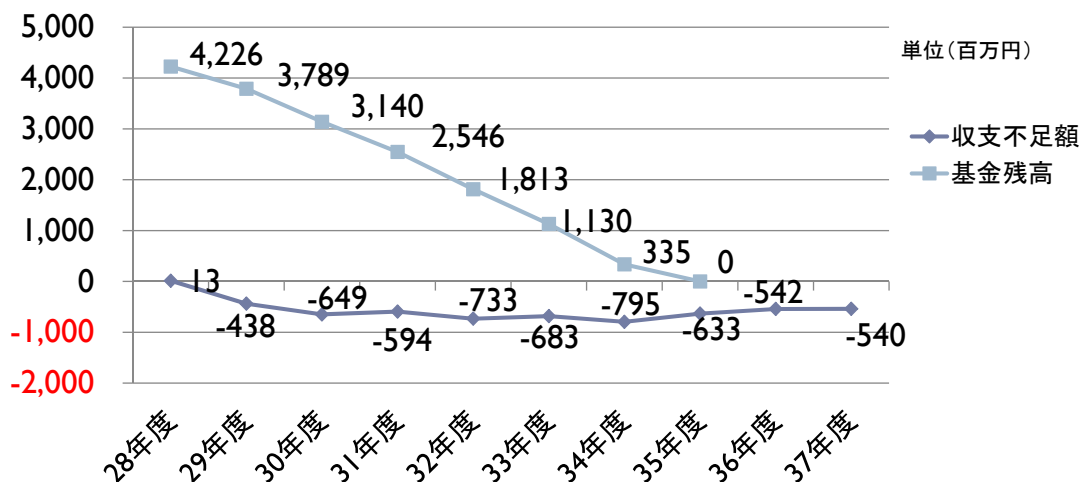


・事務事業の見直しをせず、現状行政サービスを維持した場合、28年度からの普通交付税の逦減(28年度で約7,000万円の減を見込む)などの影響により歳入が減少し、歳出超過が続く見込み。
・この収支不足については、合併以降積立ててきた基金で補填する。

資料編

<与謝野町の財政状況>

■ 収支不足額と基金残高(財政調整基金・減債基金・特定目的金)の推移



29年度以降の収支不足を、基金を取崩して補填。
仮に基金に戻せなかったと仮定すると



34年度には基金(財政調整基金・減債基金・特定目的金)が枯渇